



古都祝奈良2024-2025 事業計画(案)

KOTO
HOGU
NARA

こ
ほ
な
と
う
ら

古都祝奈良

奈良市アートプロジェクト

□ 令和6年度 事業方針

- 令和3年度から「演劇」と「美術」を順番にメインとなるプロジェクトにしており、令和6年度は「美術」をメインとする。
- 令和6年度夏にリニューアルオープンを迎えるならまちセンターを拠点として、ならまちワンダリング「文化祭」、「学校」、「シンポジウム」を開催する。

□ 令和6年度 事業構成 【全体像】

美術

プログラム・ディレクター 藤 浩志

運営：合同会社CHISOU

ならまちワンダリング「文化祭」

古都祝奈良の学校

古都祝奈良シンポジウム

演劇

プログラム・ディレクター 田上 豊

青少年と創る演劇 Lite

まちなか舞台

●地域コーディネーター（広報）：一般社団法人はなまる

美術部門 参加作家候補

ディレクター



FUJI HIROSHI

藤 浩志

(美術家・秋田公立 美術大学教授、NPO 法人アーツセンターあきた理事長、秋田市文化創造館館長)



参考作品: Jurassic Plastic

ワンダリングアーティスト



ANDOU RYUICHIROU

安藤 隆一郎

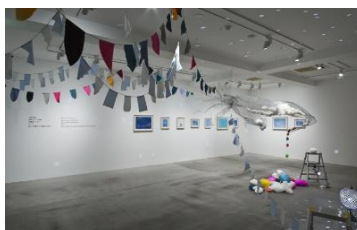
(京都市立芸術大学准教授
染織専攻 蠟染・身体翻訳専門)



KAZAMA YUSUKE

風間 勇助

(奈良県立大学 地域創造学部講師)



ブブ・ド・ラ・マドレーヌ

GMC/座学 校長代理

(奈良市在住、アーティスト)



NISHIO YOSHINARI

西尾 美也

(東京藝術大学美術学部准教授)

令和6年度 事業概要

美術

プログラム・ディレクター 藤 浩志

●ならまちワンダリング「古都祝奈良 文化祭」

令和5年度に開催した部活動での繋がりや新しいかたちの学びの場を生かし、
リニューアルしたならまちセンターで6年度は「古都祝奈良 文化祭」を開催する。

【市民とアーティストが共につくるあたらしいかたちの学びの場】

ゼミ

参加アーティストによるプロジェクト

ラボ

様々な実験的なワークショップ
杉山 至氏、飯田 惣一郎氏

部活

街の居場所で市民が
主役となる部活動

座学

グリーン・マウンテン・カレッジ

令和6年度 事業概要

美術

●古都祝奈良の学校

【WS、フィールドワーク等を通じて、
若いアーティストやプレイヤーを育成】

→日帰り2日間と一泊二日のプログラムを
開校予定。



●古都祝奈良シンポジウム

2026年の東アジア文化都市開催10周年
に向けてのシンポジウム、パネラー等未定



□ 令和6年度 事業概要

演劇

● 青少年と創る演劇 Lite

プログラム・ディレクター 田上 豊

日	程	10月頃参加者募集開始	11月公演予定
会	場	奈良市音声館ほか	
内	容	リーディング劇	

参加講師候補

ごまのはえ

(劇作家・演出家・俳優)



令和5年度のWS「戯曲講座」で作成した作品をミニ演劇として制作・発表。
公募で集まった中高生がプロの指示のもと創作・上演。創作活動を通じて表現する喜びを体感する。

□ 令和6年度 事業概要

演劇

プログラム・ディレクター 田上 豊

● まちなか舞台

【演劇テーマ】「今ならこれ奈良」～明るい未来～

日 程 11月初旬頃（予定）

会 場 奈良市役所、三条通り、西大寺一条線（三和ビル前）等 候補場所から参加団体に選んでもらう

演劇団体を公募し、奈良市内各所で劇団員が劇場を飛び出して演じる。

【キックオフイベント（仮）】

日 程 11月初旬頃（予定）

→ まちなか舞台を始動させるにあたり、士気を高めるための節目を作る。